

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

（メール）tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

CTG

とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

国民本位の交通政策実現を！交運共闘 中央行動ゼネコン要請

11月9日（木）～10日（金）

交運共闘（建交労・自交総連・検数労連・海賃協・全税関・国土交通労組）は、秋季年末闘争の結節点として、中央行動を開催しました。国土交通省前に300名を超える仲間が集まり、建交労からは約130名の組合員が結集しました。全労連石川副議長や日本共産党仁比参議院議員から連帯の挨拶を受け、主催者挨拶をした高城議長（自交総連委員長）はタクシートのライドシェア解禁について触れ、「一般人が運転する白タクでは安全・安心は保てない。世界では犯

罪が多発し、禁止の動きになっていくことを日本でもやるべきでない。」と訴えました。中央本部鈴木書記次長は、改正された改善推進告示について「トラックドライバーの長時間労働を是正する内容になっていない。過労死等防止に向けて再検討を行う事を強く求める。」とトラックドライバーの長時間労働と適正な賃金の実現を強調しました。国交省、厚労省、経産省に、組合員みんなで取り組んだ署名を提出し、日比谷野外音楽堂で、全労連・国民春闘共闘・国民大運動実行委員会が主催する総決起集会

に結集。戦争の即時中止、憲法改悪阻止、国民本位の交通政策の実現など、全体で確認しました。その後、各業種に別れ、高齢者・事業団部会、トラック部会、学童保育部会、鉄道本部は、国交省や厚労省、議員要請行動をそれぞれ実施しました。また、建交労・建設産別対策委員会（建設6部会・ダンプ、生コン、防災職業病、重機、建設・関連、建設現場）は第39回ゼネコン要請行動として、竹中土木、東洋建設、銭高組、戸田建設、飛鳥建設、安藤ハザマ、西松建設を訪れ、ダンプ部会はダンプの過積載根絶や建設発生土の管理徹底、12条団体の優先使用について、生コン部会は生コンクリートの品質確保と安全供給、重機部会はクレーン作業の安全確保、建設・関連部会は現場監督の週休2日の実現に向けて、建設現場部会は建設労働者への十分な賃金支払い、防災職業病部会はトンネル、じん肺等労働災害の根絶について、要請しました。



東京都本部から参加した仲間の皆様お疲れ様でした



トラック労働者の生活を守れ！



第39次ゼネコン要請

建設首都圏共闘会議 東日本大震災から12年 福島現地視察

原発の現状と廃炉の方針について、東電・福島第一廃炉推進カンパニーから、模型と映像を駆使した詳細な説明を受けました。その後の東電福島復興本社要請で、原発事故の収束について責任ある対応を求めました。大熊町役場、双葉町役場では、それぞれ復興担

当の方が対応し、震災前はそれぞれ1万人を超える人口だった町が、今は約300人（約半数は役場の職員）となっていることや、国は、避難先から戻る事を希望する住人が一定数いる地域のみ除染する方針だが、町として全域の除染を求めていることなど、復興の現状をヒアリングしました。



東京電力 廃炉資料館



双葉町役場 復興事業課 藤岡主幹との懇談

【東京建設・関連部会
事務局長 笹原 和樹】

生公連(生活関連公共事業推進連絡会議) 第42回定期総会開催

国土交通労働組合や水資労、建交労や建設関連労連など建設に関わる官・民の労働組合で構成する生公連(生活関連公共事業推進連絡会議)は、10月21日(土)第42回定期総会を開催しました。開会挨拶をした廣瀬副議長(建交労中央書記長)は「気候変動による風水害、地震など、災害が多発する中、大阪万博など大型開発にコストをかけるのではなく、国民生活を守る公共工事予算に転換すべき。昨今、建設現場での悲惨な労災事故が起きており、大手をはじめゼネコンは建設労働者の労働環境についてマネジメントを再考すべき。官・民の労働組合が力を合わせて安全・安心な建設産業をつくっていきたい。」と述べました。方針を提起した笛田事務局長(国交労組中央副執行委員長)は、1年間の取り組みや情勢について報告し「物価や資材高騰で建設労働者を含め国民は苦しんでいる。省庁交渉や生公連署名など、要求実現のため奮闘しましょう」と訴えました。地方生公連の活動や各単



開会挨拶をする中央本部廣瀬書記長

産からの報告を受け、建設技術・技能の継承・向上のためにも若い人に魅力ある建設産業にする必要があることを、改めて確認しました。
【全国建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】

東京事業団・高年齢者部会 第18回定期総会開催

東京事業団・高年齢者部会は10月27日、建交労本部6階会議室で第18回定期総会を行い来賓を含め28人が参加しました。青木副部会長の司会で議長の出発を待ち、青砥幹事を議長に選出。赤羽部会長の挨拶に続き東京都本部遠藤書記長と全国事業団・高年齢者部会安藤副部長から来賓挨拶を受けました。岩山事務局長が1年間の活動まとめを読み上げて報告、赤羽部会長が活動方針を提案しました。活動方針の柱は①公的労務事業の確立②各事業団に

おける仕事拡大・事業団の自立促進③各事業団の職場要求の実現④助け合い共催・共同基地の会などの活動⑤部会・分会運営と財政活動⑥学習活動の強化と組合員の拡大、などとなります。質疑討論では、年末一時金の支給を求める発言が多く参加者からありました。報告・方針・討論は全員一致拍手で確認されました。その後役員の新事務局長に藤田誠氏が選出されました。閉会の挨拶に立った中田副部会長は、東京都はなぜシルバー人材センターとだけ随意契約をするのか、都はシルバーと密接な関



建交労中央本部6階会議室で開催しました

係があると説明するがこれは癒着ではないか、事業団が随意契約を実現する道はもう一つある「それは都知事を変える事だ」と結び総会は閉会しました。
【事務局次長 岩山 真一】

建設関連の職場で働く仲間の要求実現を目指して 東京建設・関連部会第25回定期総会

11月8日(水)東京建設・関連部会は第25回定期総会をリモート併用で開催しました。2024年の4月から適用される時間外労働の上限規制について、職場の状況を共有し、労働者に不利益が発生しないよう注視する事や、ゼネコン・工務店で働く現場監督の週休2日実現に向けた活動、設計事務所でも働く建築士の適正な業務報酬実現を目指す運動を全国



建設関連労働者の労働条件改善のため団結がんばろう!

組合掲示板

- 12月 3日(日) 10時~都本部24 春闘討論会(東京地評ラパスホール)
- 12月 6日(水) 18時~都本部組織拡大宣伝(門前仲町交差点)
- 12月10日(日)~11日(月) 第29回全国建設研究・交流集会(スパリゾートハワイアンズ)
- 2024年 1月13日(土) 14時~建交労東京都本部新春旗開き(ラパスホール(東京労働会館7階・大塚駅))

【東京建設・関連部会 事務局次長 笹原 和樹】
部会や上部団体・友誼団体に結集して進める事を確認しました。また、春闘アンケートを組合員との接点とし、組織拡大に、みんなで力を合わせて取り組もうと意思統一しました。今年度も中野駅前での宣伝行動や、部会独自のレクレーションを企画するなど、1年間の方針を決定しました。

つなごう憲法をいかず未来へ 11・3憲法大行動

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会と、9条改憲NO!全国市民アクションは「つなごう憲法をいかず未来へ」をテーマに11月3日(金)憲法大行動を開催しました。国会前には、労働組合や市民団体など4200人が集まり、政党から社民党、令和の新撰組、立憲民主党、日本共産党が挨拶。また、日本体育大学教授の清水雅彦さんや、恵泉女学園大学教授の齋藤百合子さんなど、憲法学者がスピーチを行いました。齋藤教授は「岸田首相は日本を戦



全労連や東京地評など多くの労働組合が参加しました



国会前に4200人が結集しました

武力によって他者を支配しようとするのは、日本国憲法の価値観の対極にあるもの。」と批判しました。リレートークでは、辺野古訴訟代理人の加藤裕弁護士や全国保険医団体連合会会長の住江憲勇医師、避難の権利を求める全国避難者の会の大賀あや子さんらがマイクを握りました。住江医師は「軍事費の大幅増ではなく社会保障費を拡充させるべき。マイナ保険証

ではなく、皆保険制度の健康保険証を存続させよう」と訴えました。「戦争する国絶対反対、軍事費よりも暮らしに回せ、ストップ・ジェノサイド、9条生かして平和を守ろう、岸田政権いまずぐ退陣」とシュプレヒコールをしました。